

本支部の認定登録機関開設は21に!

認定登録機関になって、現場運用の推進を

豊島支部、開設申請

◆豊島支部、認定登録機関の設置を申請

1月16日、豊島支部は認定登録機関の開設申請を本部へ提出。

これで東京土建は設置が21本支部となりました。

◆相談随時受付中の文京支部、事業所相談

1月16日、住友系のリフォーム会社の下請けで設備施工の(株)Y社は、上位会社からのCCUS対応アンケートをよく目にするようになったため相談。6人を登録するため本部へ担当書記と来所しました。

1月10日、大成建設などゼネコン数社の下請けで20人ほど従業員がいる組合内事業所の防水施工(株)I社が、顔写真証明がない2人の登録のため、支部書記と本部に来所。事前に書類チェック済みで短時間で受付ができました。「防水の技能評価制度ができたが、実態にあわない、レベルアップのさまたげになる部分の改善を要望したい」とのことで、総連に伝えていきます。

現場運用をすすめよう

事業者と技能者の登録をしたら、就業履歴が蓄積できるように、事業者は施工体制と工事ごとの現場契約情報を登録し、現場にカードリーダーを置いて、技能者が日々の就労についてCCUSカードをかざして読み取ります。

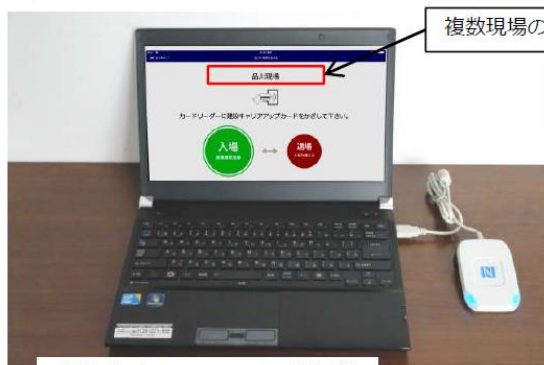
◆現場で就労を読取る機器を設置する

CCUSに事業者登録をすると、就業履歴情報を登録する現場運用の無料アプリ「建レコ」が活用できます。Windows パソコンや、iPad/iPhone を使って元請事業者が取引する事業者の施工体制と現場名や工期を設定し、下請事業者と施工体制、入場予定の技能者等の情報をCCUSに送り、履歴を蓄積します。

現場が狭い、工期が超短期間などによりカードリーダーが置けない現場の場合は、あとで技能者又は所属事業者が、就業情報を直接入力することが可能。蓄積された履歴を元請けが承認することで正式な「就業履歴」となります。また、リーダーを置かずスマホから手入力するアプリケーションもあります。

【カードリーダーの利用例】

※画面は運営主体が提供する無料アプリ「建レコ」



上記(1) Dragon_CCの設置例

PCにUSB接続の
カードリーダーを用いた認証



上記(2) BNR01NFの設置例

iPhoneとBluetooth接続の
カードリーダーを用いた認証

◆全建総連が町場普及でスマホアプリ紹介

CCUSを町場で普及させるツールとして、全建総連は技能者のスマホを使って、就労履歴を登録できる入退場アプリの「イージーパス・エア」(有料)の活用が有効としています。



CCUS助成・窓口開設・承認登録状況				
2020年 1月17日現在	技能者 助成給付	認定登録機関		
		開設	事業者登録	技能者登録
	6	○	52	91
荒川	33			
葛飾	1			
文京	57			
台東	52			
墨田	2			
江東	17	○	3	22
江戸川	37	○	28	83
板橋	12			
豊島	0	○	0	0
北	20			
練馬	27	○	55	87
港	0	○	0	0
品川	41	○		
大田	1			
目黒	0	○	0	0
渋谷	3	○	0	0
世田谷	9			
新宿	0			
中野	0	○	3	75
杉並	0	○	2	0
三鷹武蔵野	0	○		
狛江	55	○	2	16
調布	32	○	6	10
多摩西部	3			
西多摩	8	○	7	26
小金井国分寺	0	○	1	13
府中国立	36			
八王子	2			
日野	1			
多摩・稲城	0			
町田	3	○	0	0
小平東村山	18	○	4	11
清瀬久留米	8			
西東京	2	○	18	21
村山大和	14	○	12	42
本部	-	○	43	141
計	500	21	236	638

◆スマホを利用して現場運用 渡辺副委員長

渡辺副委員長はイージーパスを導入。現場に入ったらまず自分のスマホを操作し、入場登録をします。作業が終わったら退場登録をします。

1日に複数行く現場は、そのつど入退場をスマホ画面で触れば「いつ」仕事をしたかが蓄積され、その情報はインターネット環境があればいつでも見ることができます。



◆CCUSが建設産業の未来を拓く！

工事代を請求するとき「いつ」「どこで」「どんな」仕事をしたのかを確認したり、お客さんにいままでの実績を証明するツールになります。

そして、自分の仕事の記録となっており、裏付けのある経験と自分の職種をもとにどんな資格をとってレベルアップしようか、という意識が高まり、仕事への自信を深めることにつながるとしています。

渡辺さんは、「職人の身分証明として、これからの建設業界を魅力と若者に夢を示せる」とCCUSの登録を呼びかけています。

振興基金が説明会、開催

国交省と建設業振興基金によるCCUSの構築(目的と効果)、政策展開(外国人特定技能等留意点も)、登録方法、現場運用などについて説明会を昨年9~12月に開催し、その追加説明会が開催されます。東京開催は次の通り。

- 会場はいずれも銀座プロッサム。
- ①基本(構築、政策展開等)の説明
3月4日(水)午後1時30分~3時55分
講師:国交省建設市場整備課
 - ②運用(登録、現場運用等)の説明
3月6日(金)(1)午前10~12時25分
(2)午後2時~4時25分
講師:振興基金CCUS事業本部
申し込みは、CCUSか振興基金のHPから直接申し込んでください。参加費無料